



8/14(金) 教員のためのLGBT基礎講座

8月14日、浦添市立教育研究所で「教員のためのLGBT基礎講座」が行われ、自身もゲイであると公表している砂川秀樹氏を講師に迎え、LGBT(レズビアン、ゲイ、バイセクシャル、トランスジェンダー)について学びました。

砂川氏は自身の経験談を交えて、性的マイノリティの存在を認めた上で教育が行われることの必要性を訴えていました。

参加者は、社会でLGBTに対する理解が進んでいないことから起こる様々な問題に触れ、日頃からの言葉のかけ方の大切さなどを感じた様子でした。



8/15(土)・16(日) 浦添商業高校による「琉球八景」企画展を開催

8月15、16日、浦添市美術館で浦添商業高校の生徒による「琉球八景」企画展が開催されました。

これは市と同校とのコラボ企画である「うらそえコンシェルジュ」の取り組みの一環であり、企画の中で学習した葛飾北斎や琉球の歴史について、「江戸上り琉球使節若衆」の衣装を着用し、葛飾北斎が描いた「琉球八景」のおもしろさを高校生の視点から解説しました。企画展には外国の方も訪れていて、生徒たちの説明を熱心に聴いていました。生徒たちは「実際に衣装を着けて展示の説明ができたことは、貴重な体験となりました」と語ってくれました。



8/14(金) 「浦添の観光みやげ推奨品」認定

8月14日、浦添市では、市製品の知名度向上を図り浦添市の観光振興にも寄与することを目的として、現在商品化されている浦添の観光みやげ品に「浦添の観光みやげ推奨品」認定制度を創設・認定しました。

認定を受けた商品は今後、「浦添の観光みやげ推奨品」認定シールの使用・県内外物産展への優先陳列・浦添市のふるさと納税への返礼品として活用されます。どれも浦添市をPRする商品となることでしょう。(詳しくは、16～17ページへ)



9/6(日) 「せかいのおはなし会」としよまるスペシャル

(浦添市立図書館・JICA沖縄30周年共同企画)

9月6日浦西公民館で、地域の振興や「国際性豊かな文化都市」の実現に寄与する目的でJICA沖縄国際センターの研修員による絵本の読み聞かせが行われました。

絵本の読み聞かせでは日本語の他にベトナム語やフィジー語など6か国の言語を聞くことができました。読み聞かせの他にも「こんにちは」「ありがとう」という挨拶も教えてもらいました。

参加した子どもたちは初めて聞く言語にとっても興味津々な様子でした。



8/30(日) 第9回浦添市語やびらしまくとうば大会

8月30日、第9回浦添市語やびらしまくとうば大会が中央公民館3階ホールで開催されました。

大会に参加した皆さんは、浦添市文化芸術振興事業として2か月に渡り実施された「うちなーぐちワークショップ」を受講された皆さんと、市内のサークル等でしまくとうばを学ぶ皆さんでそれぞれ学んだ言葉やイントネーションを活かして、歌や劇、意見発表などを、うちなーぐちで披露しました。大会の中では、9月19日(土)開催の「県しまくとうば語やびら大会」へ出場する宮里寛徳さんの「仲西職業節」も披露され、その身振り手振りを交えた話しぶりに満員の会場は大いに盛り上がりました。



9/1(火) 平成27年度浦添市中学生海外短期留学生派遣事業報告会

5人の中学生が24日間の短期留学(アメリカワシントン州)から帰国し、留学期間中の体験を生徒それぞれが英語を混じえて9月1日、市長室で市長、教育長に報告しました。

「沖縄とは違う環境に驚きもあったが、沖縄では体験出来ない事が体験できました。日頃からの英語の勉強の成果を生かす事ができ、留学のチャンスを与えてくれた浦添市と沖縄の家族に感謝をしています」と留学生は報告していました。



8/14(金) 第43回九州中学校相撲競技大会優勝市長表敬訪問

8月14日、第43回九州中学校相撲競技大会で団体の部で優勝を果たした浦添中学校相撲部の皆さんが、市長表敬を行いました。

浦添中学校相撲部は見事団体戦で優勝を果たし、個人戦では眞闘斗さんが初優勝、城間瑠正さんと仲里隆治さんがベスト8に輝くなど素晴らしい成績を収めました。大会に参加した生徒たちは「日頃の練習や色々な活動を通して、チームがまとまり、今回の結果につながった、うれしく思います」と、大会結果報告と喜びを語っていました。

